

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会
平成27年度第7回理事会議事録

開催日時： 平成27年11月8日（日）13時00分～15時45分
開催場所： 日本臨床検査自動化学会事務所（文京区本郷）
出席者： 康 東天理事長
澤部祐司理事、×谷直人理事、細萱茂実理事、山舘周恒理事、
横田浩充理事、栢森裕三監事、村上正巳監事
欠席者： 松尾収二理事、和田隆志理事

冒頭、康 東天理事長より、貴重な時間を割いてお集まり頂いた理事、監事の方々に感謝が述べられ、議案審議に入った。

議題1. 学会ホームページ m3.com の説明

無料の学会ホームページ m3.com を運営しているエムプラス社より担当者から概要について説明があり、質疑応答が行われた。なお、現在当学会で利用している大会演題登録システム UMIN について、来年10月で業務終了の情報がある件の確認を行うこととなった。（本件について、山舘周恒理事が翌週 UMIN に確認した結果、中止されるシステムは ELBIS オンライン論文投稿・査読システム-JOERS で、演題登録システムの中止予定はないとの返答であった）。

議題2. 第47回大会報告

下記事項について山舘周恒大会長より報告がなされた。

(1) 企画、運営に関する反省点について

事前準備と当日の分担および運営会社について振り返って、改善を要すると思われた事項等の説明がなされた。

(2) 収支の概算報告について

目標を超える有料参加者（2,585名）と運営経費節減に努めたことから良好な収支結果となった旨、報告された。大会長所属施設からの助成金については、1/3相当額を謝礼の意で返納（寄付）することで全員の承認が得られた。

議題3. 次回の第48回大会について。

(1) 企画について

来年は、大会初日の9月22日（木）が祭日であることから、初日の朝から一般演題を含む大会企画を多く組み入れる方向であることが康 東天大会長より報告された。

(2) 見積書について

会場（パシフィコ横浜）の見積書と運営会社4社に依頼し2社から提出された見積書について山館周恒総務担当理事より報告がなされた。

(3) 予約金の支払いについて

次回大会会場のパシフィコ横浜より予約金請求書が届いている旨、山館周恒総務担当理事より報告があり、支払いについて全員の承認が得られた。

議題4. 49回以降の大会について

次回以降の大会日程と会場の確保状況について山館周恒総務担当理事より以下のように報告がなされた。

(1) 第49回大会

細萱茂実大会長（東京工科大学）のもと、平成29年9月21日（木）～23日（土）の日程でパシフィコ横浜にて行う。

(2) 第50回大会

通山 薫大会長（川崎医科大学）のもと、平成30年10月11日（木）～13日（土）の日程で神戸国際会議場にて行う（10月10日から会場確保中）。10月10日の利用計画については通山 薫大会長に近い時期に確認をしたいとの康 東天理事長の発言があった。

議題5. 当学会のCOI設定について

メ谷直人理事より、資料として関連学会のCOIおよび日本医学会のガイドラインの紹介と説明がなされた。康 東天理事長より、当学会のCOI案作成についてメ谷直人法規担当理事に要請された。

議題6. 学術委員会より

学術委員会担当の松尾収二理事が所用で欠席のため山館周恒理事より下記事項について説明がなされた。

(1) 第47回大会時の委員長会議議事録

(2) HPへの掲載申請書

(3) 各技術委員会議事録

現時点で全委員会の議事録が揃っておらず、また、提出議事録の一部は委員会の最終版ではないことから4委員会に確認することとなった。

(4) 第 48 回中国四国支部医学検査学会での POC セミナー後援依頼

本件についてはメール審議にて承認済みとなっている旨、合わせて報告された。また、今回の POC セミナー参加者に配布する参加証が主催側に届いていなかったことから、今後共催する POC セミナーについては主催者側にて準備する提案が谷直人理事よりあり、了承された。

議題 7. 編集委員会より

下記事項について編集委員会委員長の細萱茂実理事より報告がなされた。

(1) 拡大編集委員会議事録、執筆依頼内規、査読要綱について

(2) 学会誌 JJCLA への投稿状況について

総説執筆者の推薦を新規に編集幹事に依頼して集計中である旨の報告があった。

議題 8. 細則改定について

定款・細則検討委員会委員長の村上正巳監事より下記の説明がなされた。

(1) 定款の改定について

社員総会当日に司法書士の助言で軽微修正が発生し、それを盛り込んだ改定案を社員総会に提示して承認された。

(2) 細則の改定案について

当理事会に提示された細則改定案について審議を行い、数か所についての修正意見を採択した後、出席者全員により承認された。

改定された定款と細則は当学会ホームページに掲載することとなった（その後、司法書士の助言で改定申請が所轄官庁で受理された時点で掲載することとなった）。

議題 9. その他

(1) JJCLA 誌掲載済み論文の英文化許可願い 1 件について

富士フィルムより、JJCLA 誌の Vol. 12 (No. 2) 1987 p197-200 と Vol. 33 (No. 2) 2008 p210-214 の 2 論文を英文化して現地法人への説明用資料としたいとのことで許可申請があった件について審議を行い、以下の条件付で了承された。

- ① 筆頭著者の了解を得る。
- ② 出典を明記する。
- ③ 英文表現の責任は富士フィルムにある。

(2) JACLaS からの申し入れ事項について

康 東天理事長より JACLaS からの下記について申し入れがあったことが報告された。

① 寄附金の申請には趣意書を添えて頂きたい。

本件について、総務担当の山館周恒理事が書類作成を担当することとなった。

② 将来的には現状の寄付金額を維持できない可能性がある。

③ 現在、寄付は本学会と日本臨床検査医学会のみになされているが、他団体への寄付もあり得る。

(3) 次回理事会について


後日、平成 28 年 1 月 18 日（月）～1 月 31 日（日）の期間で理事会各位の予定確認を行って決定することとなった。

以上


平成 27 年 12 月 22 日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長

康 東 天 

出席監事

村 上 正 巳 

出席監事

稻 森 裕 三 